

先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会（第1回）

【議事要旨】

1 開催日時

令和元年8月7日（水） 14：00～16：00

2 開催場所

東京都港区三田2-1-8

三田共用会議所3階

3 配布資料

資料1 令和元年度 先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会委員名簿

資料2 令和元年度 先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会開催要綱（案）

資料3 令和元年度 先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会の概要及び進め方（案）

資料4 石油コンビナート等における災害対応について

資料5 先進技術を活用した災害対応支援のニーズ調査及び事例・文献調査について（案）

資料6 「石油コンビナート等災害防止3省連絡会議」報道資料

4 議事内容

（1）消防庁特殊災害室長挨拶

- ・近年、AI、ドローン、画像解析、5Gといった先進技術の発展がめざましく、実際に石油コンビナートの保安現場においても活用されつつある。
- ・石油コンビナート災害では、広大な敷地の中に複雑な設備や多種多様な危険物等がある中で、迅速、確実、効率的な情報収集、状況判断が求められる。
- ・本検討会においては、災害発生時の事業者、公設消防、石油コンビナート等防災本部における情報収集、状況判断等に際し、こうした先進技術をいかに活用していけるか、現場のニーズや課題も踏まえて、その導入・活用のあり方、課題等について検討していきたい。

（2）開催要綱（案）について

資料2により事務局から説明が行われた。

（3）座長互選及び座長代理の指名

委員の互選により、小林恭一委員が座長に選出された。

また、座長により、細川直史委員が座長代理に指名された。

(4) 議事概要

ア 検討会の概要及び進め方について

資料3により事務局から説明が行われた。

イ 石油コンビナート等における災害対応について

資料4により事務局から説明が行われた。

ウ 先進技術の紹介について

村上建治郎委員、神取弘太委員、森口昌和委員から、先進技術の活用事例について説明が行われた。

エ 先進技術を活用した災害対応支援のニーズ調査及び事例・文献調査について

資料5により事務局から説明が行われ、この方針により事例調査及び文献調査を実施することとなった。追加の意見等があれば事務局まで連絡することとされた。

(5) 質疑応答

座長：☆ 委員：○ 事務局：●

○本検討会の検討は、成果を自衛防災組織の防災資機材等として法令上位置づけることや、成果を活用するための人材の育成等まで視野に入れているのか。

●今回検討するテーマは、法令上位置づけるほどになるには相当時間がかかると考えており、この検討会でそこまで検討することは考えていない。一方で、運用に際してルールや課題を整理することで先進技術の導入が促進されるということであれば、それらについては早急に検討すべきではないかと考えている。

☆大災害時には多くの情報が発信される一方で、回線があふれ通信不能となることが考えられる。そのため、関係者は様々なシステムを構築しているところであるが、この実態をどう考えるか。

○東日本大震災の時も電話回線はつながらないもののネット回線はつながったという状況があり、おそらく最後までつながるのはネット回線ではないかと考えている。

☆仮想空間の活用については、見るだけでなく操作も必要な場面がたくさんあると思うが、どのように対応するのか。

○多様なセンサーを使うことにより、仮想空間を視覚により体験するだけでなく、手を認識して物をつかむことや指でボタンを押すといった操作も可能である。さらに、触覚デバイスを組み合わせることによってさわった感じも付加できる。また、嗅覚デバイスを連携することにより、さらに臨場感を高めることも可能である。

以上